

「第2回 旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング」 が開催されました

令和6年1月31日、旧吉野川津慈地区河川整備事業地のよりよい湿地環境の創出並びに利活用や管理運営の具体化を目的として、徳島県コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会の規約第7条に基づき「旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキング」を新たに設置しました。

第2回目となる今回は、ワーキングメンバーの皆さまと津慈地区河川整備事業地で実施されている第1弾試験施工地の現地視察を実施し、年度末に完成予定である湿地環境に対して様々な観点からいただいた意見を今後のモニタリングに向けて検討を行うため、ワーキングを開催しました。



- 1.開催日時：令和7年1月21日（火）13：00～15：30
- 2.参 加 者：学識者、環境等の有識者、鳴門市、藍住町
- 3.視察場所：自然再生箇所（津慈地区）、河道掘削箇所（大寺、乙瀬、勝瑞・川崎地区）
- 4.内 容：（1）第1弾試験施工の概要説明（津慈地区）
（2）旧吉野川津慈地区河川整備事業地の整備について
（3）旧吉野川津慈地区河川整備事業地の利活用について



■第2回旧吉野川津慈地区湿地環境づくりワーキングの主な内容■

旧吉野川津慈地区河川整備事業地の第1弾試験施工では、河川との接続部分を全開放や半開放にするほか、湿地面を階段状や緩傾斜状とした4つのパターンについてモニタリングを行うこととしています。

事業地がコウノトリの餌場として利用されるために、餌生物となる生き物の定着条件や、流下阻害となる樹木や植生繁茂等について、ワーキングメンバーと意見交換を行いました。

第1弾試験施工地が完成された際には、モニタリングを実施し、将来の湿地環境がよりよい結果となるよう、進めて参ります。



第1弾試験施工箇所整備状況